参加企業募集

スコルコヴォ・オープンイノベーションフォーラム 日本セッション開催のご案内

令和元年8月30日
総務省
経済産業省
IoT推進コンソーシアム
日露貿易投資促進機構事務局
（（一社）ロシアNIS貿易会）

このたび（一社）ロシアNIS貿易会では、総務省及び経済産業省の支援の下、IoT推進コンソーシアムと連携し、日ロ間のデジタル分野協力を推進すべく、令和元年10月20日（日）～25日（金）の日程でロシア連邦・モスクワ市にビジネスミッションを派遣し、同月21～23日に同市郊外のテクノパーク「スコルコヴォ」にて実施されるオープンイノベーションフォーラム（以下、OIF）に参加、その枠内で「日本セッション」を開催致します。

OIFは、スコルコヴォにとって最も重要なイベントであり、メドヴェージェフ首相が参加し、また直接指揮する会議であり、イノベーション分野を対象とするロシアのビジネスイベントでは最大の規模となります。デジタル分野でのプラットフォームやインフラの拡大に伴い、必要とされる人材育成、スタートアップ支援、官民協力、産学連携、AIやIoTを対象とした新規技術開発、また最先端技術の医療など社会サービスへの応用など、ロシアにおける最先端のトレンドに関する様々なビジネスセッションが開催される他、多数の展示も実施されます。弊会はOIFの枠内で日本セッションを開催する他、会場内にミッション参加者が活用できる面談スペースを設置し、ミッション参加者向けに現地スタートアップ事情に関するセミナー、フォーラム内ミニツアー、及び現地企業及びスタートアップ等との面談に関する通訳支援も実施する予定です。別紙1を参照いただき、ご関心の向きは別紙2「申込書」にご記入の上、**2019年10月4日（金）**までにメールまたはFAXにてお申し込みください（申込多数の場合は、先着順とさせていただきます）。

敬具

❒日程：2019年 10月20日（日）～25日（金）

＊フォーラム（OIF）開催期間は同月21～23日

❒OIF開催地：スコルコヴォ・テクノパーク（モスクワ市、ロシア）

（注）事前に OIF への参加登録手続を各自で完了願います。また渡航費及び OIF 参加登録料も各自のご負担となります。

❒お申し込み方法

参加申込用紙（別紙２）に必要事項をご記入の上、2019年10月4日（金）までに、下記申込先までe-mailまたはFAXでお送りください。先着順で受付させていただきます。

【お申し込み・お問い合わせ先】

（一社）ロシアNIS貿易会　ロシアNIS経済研究所　担当：長谷、大内
TEL：03-3551-6218　FAX：03-3555-1052　Email：forum@rotobo.or.jp

別紙1

スコルコヴォ・オープンイノベーションフォーラム
日本セッション開催のご案内
募集要領

1. 基本事項

（1）日本セッションには、オープンイノベーションフォーラム（以下、OIF）の登録者以外、ご参加いただけません。必ずご自身でOIFへの参加登録を完了していただいた後、10月4日（金）までに別紙2にてお申し込みください。現地での緊急連絡の際に必要となりますので、連絡担当者の方の現地で使用可能なメールアドレスおよび携帯番号の記入をお忘れなきようお願い致します。

（2）フライト、宿舎及び車両は、旅行代理店を通じて各自でご手配ください（本事業の推奨旅行業者は下記4. 参照）。原則、現地集合、現地解散となります。

（3）なお、宿舎は市内中心部にある以下のホテルを推奨致します。

アジムット ホテル スモレンスカヤ モスクワ（AZIMUT Hotel Smolenskaya Moscow）
住所：Smolenskaya Ulitsa, 8, Moskva, Russia 121099
URL: https://azimuthotels.com/Russia/azimut-hotel-smolenskaya-moscow/

（4）渡航・滞在費は参加者各自でのご負担となります。航空券（成田発着の直行便エコノミー）及び推奨ホテルでの宿泊料の合計額はおおよそ20～25万円程度の見込みです。

（5）OIF開催期間中、推奨ホテルから現地会場までの車両を当会にて手配予定です（1日1往復）。それ以外は各自で手配願います（推奨ホテル以外にご宿泊の場合で当会車両利用の場合は、出発時間に合わせて各自、推奨ホテルまでご集合願います）。

（6）ロシアに渡航するにあたっては査証（ビザ）が必要です。おそれいりますが「招待状」の入手を含めて旅行代理店等を通じて各自でお手続きをお願いします。

（7）滞在中の食事は各自でご準備・手配ください。

2. OIF参加登録及び登録料

（1）OIF入場のためには、同フォーラム公式サイトから事前に登録を行う必要がございます。このため、必ずご自身で以下のサイトから本フォーラムへの参加登録（登録料は以下の表の通り）を完了していただいた後、10月4日（金）までに別紙2にて弊会ミッションへお申し込みください。

（2）なお、OIFプレナリーセッションへの出席はロシア政府によるスクリーニングの対象となりますので、権利があっても参加できない可能性がございますのでご注意ください。

公式サイト登録ページ： https://openinnovations.ru/en/registration

	登録料（単位：ルーブル） *1 ルーブル＝約 1.7 円
1 日参加	10,000
2 日参加	16,000
3 日参加	20,000
3 日参加+プレナリーセッションへの出席	70,000

【参考:オープンイノベーションフォーラム(OIF)概要】

OIFは、スコルコヴォにとって最も重要なイベントであり、メドヴェージェフ首相が参加し、また直接指揮する会議でもある。来場者は例年1万人を超え、他のロシアでの大型ビジネスフォーラムに匹敵する規模である(注:例えば、本年のサンクトペテルブルグ国際経済フォーラムの来場者数は主催者発表に拠ると約19,000人)。OIFは慣例として3日間開催され、このうち1日目が人材育成、2日目が経済と政府、3日目がテクノロジーを主題としたセッションによって構成される。メドヴェージェフ首相は今回、2日目の10月22日にOIFへ参加し、プレナリーセッションに登壇する予定との由。

3. 渡航日程(推奨)

渡航日程(推奨)です。これ以外にもフライトがございますので、参加者各自で手配願います。**ただし、以下のフライトをご利用でかつ推奨ホテルにご宿泊の参加者に限り、当会手配車両による空港送迎をご利用いただける予定です。**

	日付	時間	日程	宿泊
1	10/20 (日)	10:45 15:00	成田発(JL421) モスクワ(DME)着	モスクワ
2	10/21 (月)	終日	オープンイノベーションフォーラム　第一日目 ＊ミッション参加者向けプログラム実施予定 1)ロシアスタートアップエコシステム概要セミナー 2)OIF ミニツアー	モスクワ
3	10/22 (火)		オープンイノベーションフォーラム　第二日目 15:45-16:45　日本セッション①「日本におけるデジタルトランスフォーメーションと新たなビジネス」(仮) 17:00-18:00「日本とロシア テクノロジー投資の可能性」(仮)	モスクワ
4	10/23 (水)	終日	オープンイノベーションフォーラム　第三日目 ＊個別企業面談実施予定	モスクワ
4	10/24 (木)	午前 13:00 17:15	資料整理 ホテル発 モスクワ(DME)発(JL422)	モスクワ
4	10/25 (金)	08:35	成田着	

【その他フライト】(アエロフロート直行便)

10月20日　SU261　成田発12:15　16:05モスクワ(SVO)着

10月24日　SU260　モスクワ発19:00　翌25日10:30成田着

4. 旅行代理店（推奨）

今回事業において当会が推奨する旅行代理店は以下のとおりです。

株式会社（株）プロコ・エアサービス
本件担当者： 阿部・大森
電話番号：(03)-6628-6066
Fax 番号 ： (03)-6628-6060
E-Mail： yabe@proco-air.co.jp yomori@proco-air.co.jp
Web： www.proco-air.co.jp

*その他業者については、当会HP「信頼と実績のロシア・NIS関連サービス業者」をご覧ください。
（http://www.rotobo.or.jp/info/link/service.html）

5. OIF内で実施予定の「日本セッション」概要

以下、2つの「日本セッション」をOIFの正式なビジネスセッションとして実施予定です。フォーラムの公式言語は英露となりますが、弊会にて日ロ同時通訳を準備する予定です。

日本セッション①「日本におけるデジタルトランスフォーメーションと新たなビジネス」（仮）
【日時・場所】
10月22日（火）15:45～16:45（予定）、会場ホール1（予定）

【概要】
デジタル・IT 技術を基盤としたビジネスプラットフォームや新たな製造インフラがグローバルに拡大する中、日本政府が提唱する Society5.0 や Connected Industries といった概念に代表されるように、日本においてもデジタル技術やデータを積極的に活用したデジタルトランスフォーメーションの動きが盛んになってきている。また、ビジネス、製品開発そしてイノベーションに求められる「速度」が日々加速化していく現在、一つの企業内で完結した生産モデルでは十分に対応できず、新たなネットワークの拡大、組織の枠組みを超えた協力が世界的に注目されている。本セッションでは、デジタルトランスフォーメーションをテーマに、企業、大学、スタートアップによる日本での新しい取組みを紹介するとともに、この分野における新たな日ロ協力の可能性について議論することとしたい。

【司会】
大坪 祐介 UMJ ロシアファンド・ジェネラル・パートナー

【報告予定】
①電通国際情報サービス（ISID） https://www.isid.co.jp/english/
報告予定テーマ：スマートファクトリー運用におけるビッグデータ及び AI の活用（仮）
②テラドローン https://www.terra-drone.net/global/
報告予定テーマ：ドローンを活用した新しいビジネス展開とグローバルなビジネスモデル（仮）

③大阪大学　産業科学研究所　https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/en/
　報告者：黒田 俊一 大阪大学 産業科学研究所教授・同副所長
　報告予定テーマ：バイオ分野での AI・データ利活用とその産学連携の実例（仮）

日本セッション②「日本とロシア テクノロジー投資の可能性」（仮）
【日時・場所】
10月22日（火）17:00～18:00（予定）、会場ホール2（予定）

【概要】
日露ビジネスはこれまで資源エネルギーと機械製品を主とする両国間の貿易、ロシア国内における自動車を中心とする現地生産を中心に拡大してきた。しかし、日本は「モノづくり」を支えるマニュファクチュアリング・テクノロジーに強みを持ち、他方ロシアは従来から強みを持つ基礎研究の分野に加え、近年はソフトウエア開発分野において世界でもトップレベルの人材を数多く輩出している。こうした日露両国の相互補完の関係はオープンイノベーションの成果を存分に発揮できる絶好の機会と言える。
こうした日露間の win-win 関係を築き上げるために欠かせないのが相互のテクノロジー分野への投資である。今般、ロシア政府系テック投資機関である Russian Venture Company の出資を得て日露間では初めてとなるテクノロジー投資ファンド Japan Russia New Frontier Fund（JRNFF）が設立される。このファンドの日露双方の運用担当者からの基調報告をベースに、日露テック投資関係者による現在の日露テック投資にかかる問題点、今後の両国のテック投資を活発化させるために必要な方策等についてパネルディスカッションを行う。

【司会】
大坪 祐介 UMJロシアファンド・ジェネラル・パートナー

【報告予定】
① New Frontier Capital Management International
　*JRNFF の日本側ジェネラルパートナー（GP）、
　　日系グローバルファンド運営会社 http://www.nfcm.co.jp

② Davinci Capital Management　http://dvcap.com/
　*JRNFF のロシア側ジェネラルパートナー（GP）、EBRD の他、欧米著名投資家が出資

③ Russian Venture Company　https://www.rvc.ru/en/

*その他、ロシア側から経済発展省関係者も参加予定。

6. 日本ブースについて

本事業参加の日本企業関係者が、面談やミッション参加者向けイベントにて活用いただける施設として、下記イメージ案の日本ブースをOIF会場内にて設営予定です。これ以外にも、以下の目的での活用も可能ですので、ご関心の向きは、別紙2にて回答いただき、ご相談いただけますようお願い致します。

●ピッチスペースを活用した企業プレゼンの実施
●カタログラックへのパンフレット展示（少量）

7. 弊会ミッション参加者向けイベント概要

ロシアのスタートアップ産業と日系企業の協業を促進する組織「Innovations Bridge」（以下、IB）の協力を得て、以下のイベントをミッション参加者向けに実施することを予定しております。場所は、特に記載のない限り OIF 会場内に開設する専用スペース「日本ブース」となる予定です。

1）ロシアスタートアップエコシステム概要セミナー

日時：10月21日午前（予定）、30分～1時間程度 （*複数回の実施も検討中）

概要：実際にロシアでビジネスに携わっている企業関係者やコンサルタントが、ロシアスタートアップ業界概要、スタートアップ支援組織・投資家情報、グローバルに活躍するロシアのスタートアップ、日本企業との協業事例等について解説。スコルコヴォやOIFへの理解を深め、ロシアスタートアップ産業に関する全体の文脈を把握することにより、ミッション参加によるインプットの質をあげる。

2）OIFミニツアー

日時：10月21日午後（予定）、1グループ1時間程度

場所：日本ブース集合・出発、OIF会場内

概要：希望する日本企業2～4社を1グループとし、IBスタッフがOIF内をご案内するミニツアー。スタートアップの技術トレンドや、OIFにおけるトピック選択の背景などの周辺情報の補足も行う。ロシア人通訳同行予定。

3）個別企業面談の実施

日時：10月23日午前（予定）（*希望により別日程での調整も可能）

概要：OIFを通して参加日本企業が興味を持ったロシアのスタートアップ企業と、日本ブースの専用スペースにおいて個別の面談機会を設ける。落ち着いた環境で、今後の協業可能性に関し議論する場を提供することが目的。日ロ通訳も手配予定。

【参考：Innovations Bridge（IB）概要】

2019 年 4 月、ベンチャーファンド PulsarVC（カザン）、SAMI（サンクトペテルブルグ）、Skylight consulting（日本）の 3 社で、ロシアのスタートアップ産業と日系企業の協業を促進する Innovations Bridge の設立をロシアベンチャーフォーラム 2019 内で発表（MoU 締結には、タタールスタン大統領、日本大使館関係者が立会い）。IB が実施したビジネスイベント例は以下。

1）Japan Bootcamp 2019

- 2019 年 4 月開催（福岡・東京）
- ロシアスタートアップ企業・ベンチャー投資家を日本に招聘、ピッチコンテストや、投資家とのネットワーキング、事業会社への訪問、WS の開催などのロードショーを企画
- 2 社のスタートアップ企業がプロジェクト継続中

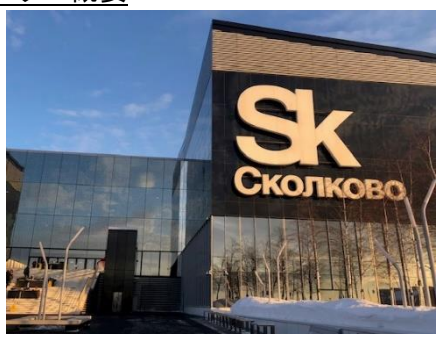
2）Hanabi Hack

- 2019 年 6 月開催（モスクワ）
- 日本の HR テック Grooves Inc.のサービス「Forkwell」のブランディングの為のハッカソンイベントを開催、IB は Info-partner として集客をサポート
- 応募総数は 260 人超、受賞チームには賞金と日本渡航中の Grooves Inc.のオフィス利用権を提供

【その他参考情報】

1）関連地図【モスクワ市内位置関係】

2） スコルコヴォ・イノベーション・センター概要



- メドヴェージェフ政権期に、「ロシア版シリコンバレー」構築を目標にイノベーション推進特区として設けられた。情報技術、省エネ、バイオ・医薬、宇宙、原子力、農業の6分野を重点領域として、企業との研究開発協力、スタートアップの育成に力を注いでいる。情報技術分野では、ロボティクス、AI、ビッグデータ、VR、サイバーセキュリティ等に注目。日本企業との間では、R&Dにて、パナソニックやファナック等と協力関係にある。
- 例年4月にはROBOTICS Forum、5月末にはStartup Village、10月後半にはOpen Innovationと近年ロシアで注目される大規模なテック系フォーラムを多数開催している。
- 弊会との間では、2018年2月、日本とロシアのスタートアップ交流を目的に、現地に日本からミッションを派遣し、同センターにてMeetupイベントを開催。また、2019年4月にもミッションを派遣し、ROBOTICS Forumにて日本セッションを実施した。

（了）

締切： 2019年10月4日（金）（必着） 別紙2
送付先： FAX：03-3555-1052 または E-mail: forum@rotobo.or.jp
問い合わせ先：（一社）ロシアNIS貿易会 担当：長谷、大内 （TEL：03-3551-6218）

スコルコヴォ・オープンイノベーションフォーラム・日本セッション開催のご案内

参加申込用紙

☐ オープンイノベーションフォーラムには既に参加登録済みです。

1．申込者情報			
(1)申込者氏名		英文表記	
(2)勤務先名称			
英文表記			
(3)所属部署			
英文表記			
(4)役職		英文表記	
(5)勤務先住所	〒		
(6)勤務先TEL		(7)勤務先FAX	
(8)E-mail			
(9)連絡担当者 ※ご本人以外の場合		(10)担当者TEL ※ご本人以外の場合	
(11)担当者Email ※ご本人以外の場合			

2．宿舎・フライト情報 ※円滑な事務連絡のため、以下の情報提供にご協力ください。未定の場合、現時点情報で構いません。	
(1)フライト情報 （モスクワ発着便の日時をお知らせください）	① 往路 10 月 日、 : 発、 : 着 便名： ② 復路 10 月 日、 : 発 便名：
(2)現地宿泊先、現地連絡先(メールアドレス、携帯電話番号) ※右欄にご記入ください。	

3．日本ブースにて、以下をご希望の場合、チェックをお願い致します。事務局にて調整の上、回答させていただきます。
☐ 日本ブースでのプレゼン ☐ カタログラックの利用

4． ミッション参加者向けビジネスイベントについて、参加予定のものにチェックをお願い致します。
☐ ロシアスタートアップエコシステム概要セミナー ☐ OIF ミニツアー ☐ 個別企業面談 （具体的希望あれば記載： ） ☐ 個別企業面談の際の日ロ通訳の要否（必要な場合にチェックをお願いします）

※個人情報の取扱には十分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません。
※お二方以上ご参加の場合、お手数をかけますが、本紙をコピーの上、お一人ずつご記入・ご返送ください。